

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Horizontal lines for writing responses.

のりしろ

イラストも募集しています。広報はがのカットとして掲載させていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Large empty box for drawing illustrations.

のりしろ



●一緒にバレーボールをやってみませんか

私たちは、毎週火・金曜日の夜8時から芳賀中北にある町第2体育館で活動しているバレーボールチームです。

男性・女性、初心者・経験者を問わず、一緒に汗を流してくれるメンバーを大募集しています。

興味がある方は気軽にご連絡ください。

■矢口まで

【090(1)123(8)5555】



●「環の町芳賀」我が町は貢献しています

稲毛田 かんじょういくよさん 広報特別号「芳賀町のごみ(2005年1月発行)」を読みました。

皆さんは芳賀町のごみの量はどれくらいかご存知ですか？

平成15年度分は4,574トン。そのごみを処理する経費は1億9,006万円。県内では少ない量だそうです。

町の人口を17,000人で計算すると1日1人あたり737gになるそうです。

しかし、残念なことは…「では、どうするか」の話題が少ないことです。

私の自治会では、町の支援協力で待望の「エコステーション」が建設されました。

各代表者を中心に実施するにあたり数回の会合が開かれました。前向きな発言を基に実行するためのいくつかの施策を話し合いました。70戸を超える参加になりました。

①生ごみ類②新聞・段ボール類③鉄類④ガラス類⑤ビン類⑥衣類関係⑦アルミ缶類⑧プラ類⑨発泡類などに分類してエコステーションへ出します。

3月1日から始まり、少々

のトラブルはありましたが、数万円のお金が皆さんの協力で生まれました。参加者からやってよかったの声も多く聞くことができました。また、ごみも半減されている話もありました。

これからも、ひとり一人の協力の「和」で継続されることを確認できました。

「みんなで渡れば怖くない」を逆転して「みんなで協力すれば大きな仕事ができる」ことが解りました。

皆さんもいかがですか？環境問題はできることから始める。そう、未来の子どもたちに「快適な環境」という宝を贈りませんか？スタートした21世紀を、豊かな心で挑戦をしましょう。

▲下高根沢 高松イクさん



食育 食べて元気!

食卓は心の栄養

子どもは親の食習慣をそのまま受け入れ、その影響を大きく受けて成長していきます。そのため、「しっかり食べなさい!!」「残したらダメ!!」「急いで!!」などと小言を浴びせてしまえば、食事の時間が苦痛で、食に無関心になってしまう可能性があります。

子どもは家族とゆっくり食事を楽しむことで、安定した心身をつくります。また、子どもの頃から買い物や食事作り、後片付けを体験することで「食」に興味を持つようになります。そして、子どもは親が喜んでくれること、親に褒められることが大好きです。上手にできたら「ありがとう」の一声を。子どもの自信につながります。

加工食品が招く味覚障害

加工食品は味が濃く、うまみ調味料が多く使われています。このような食品を子どもの頃から多用すると、味覚の発達を阻害し、「にがい」「すっぱい」などの味が味わえなくなってしまいます。味覚を発達させるためにも、できるだけ手づくりの食事を心がけましょう。

■学校教育課学校教育係 【☎028(677)6024】

